

【国語の結果より】

① 特徴的なものについて

- ・「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすること」、「原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えること」「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること」において、県、全国を上回っている。
- ・「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること」「文脈に即して漢字を正しく書くこと」では、全国、県より大きく下回っている。

② 今後の対策

- ・「話すこと」「書くこと」など、情報を整理し、自分の思いや考えをまとめて発信する力に弱さがみられるので、「要旨をまとめる、要約する」など情報を整理する学習や、目的や相手を意識して話したり、書いたりして伝える言語活動の充実を図る必要がある。
- ・漢字の定着、語句調べ等、知識・理解につながる基本的な学習を、授業や家庭学習で大切にしていく。

【数学の結果より】

① 特徴的なものについて

- ・「自然数の意味を理解する」「反比例の意味を理解する」「空間における平面が同一直線上にない3点で決定されるか理解する」問題では、全国、県に比べて上回っている。
- ・「成り立つ事柄を見だし、説明する問題」「ある事柄が成り立つことを証明する問題」「データを分析して傾向を数学的な表現で説明する問題」では全国、県を大きく下回っている。

② 今後の対策

- ・与えられた表やグラフから傾向を読み取り批判的に考察し問題解決ができる力、証明のときに何が分かっているのか仲間に説明する機会を設け、その中で数学的な表現を使って説明する力をつけていく。

【英語の結果より】

① 特徴的なものについて

- ・リスニングや長文においても、英文で表現している状況について、絵や選択肢の中から概要を読み取って正しいものを選択する力がついている生徒が多い。
- ・与えられた課題に対して、自分の考えを英語で伝える力が弱い。

② 今後の対策

- ・「聞くこと・読むこと」について、毎日の授業で初見の長文に対してヒントを与える前に、周りとは協力しながら解いていき、個人でも課題に向かう力をつけたい。
- ・「話すこと」について、授業の帯活動として、題材に対して考えて答える場面をつくる。さらに、振り返りを行いながら文の正確性についてもより深めていきたい。

【学校での学習活動、家庭での生活習慣に関する質問紙調査結果より】

① 特徴的なものについて

- ・基本的な生活習慣は概ね確立できている。大きな課題としては「家庭学習習慣」の確立である。

② 今後の対策

- ・テストについて、範囲の広い定期テストだけでなく、範囲が制限される単元ごとのテストを位置づけ、家庭学習に取り組みやすくする。